

平成 20 年度情報交換会に関するアンケート集計結果報告

1. 平成 20 年 8 月 27 日（水）高知で行われた情報交換会について

○参加者は 61 名であった。情報交換会は以下の 2 つから構成された。

1. 高知大学医学部非常勤講師（臨床心理士）の池 雅之先生より「メンタルヘルスをめぐって考えること」と題した基調講演が行われ、その後会員からの事例に対するアドバイスを頂いた。事例は摂食障害があり登校しなくなったためカウンセリングも途絶えている学生への対応についてであった。
2. 「1」における事例を参考にしながら、小グループに分かれて「学生との関係をどのように保つか」「様々な職種間で情報をどのように共有するのか」「援助者に対するメンタルヘルスはどうするのか」などについて話し合った。

これに対して会員からは、「有意義だった」という感想が多く聞かれた。その理由としては「他大学の様子を聞くことができた」「グループ討議なので意見がだしやすかった」「同じような悩みを持つ人からアドバイスを受けることができた」など、直接意見交換ができて良かったというものが多かった。その一方で参加者の約 1 割には「あまり有意義ではない」「どちらとも言えない」という感想がみられた。

2. 今回の鳥取での情報交換会の希望について

○テーマとしては「感染症」「メンタルヘルス」「性教育」「健康教育」の 4 つが多かった。次に多かったのは「日常業務に関すること」「健康診断」「保健指導」などであった。
○形式としては「講義」と「テーマを決めて小グループで討議」という 2 形式が圧倒的に多かった。

○ その結果を基にして今回の鳥取での情報交換会は、

1. これまでとは違った「メンタルヘルス」「健康教育」「保健指導」などとも関わってくる「癒し」の視点から、「保健管理センターにおける色を使ったよりよい環境作り」と題した講義
2. 保健管理担当者が同じレベルで話し合える「日常業務」をテーマとした、小グループ討議

の 2 つを企画した。

3. 教育講演やシンポジウムなどの希望について

- 「感染症」が最も多くついで「メンタルヘルス」と「労働安全衛生」が多かった。
○ この結果を基にして明日以降開催される研究集会教育講演 1 は「職場メンタルヘルスの現状と対策」、教育講演 3 は「動物インフルエンザから新型インフルエンザへ」となった。

平成 21 年 8 月 26 日

研究集会開催大学鳥取大学 浜本
保健看護分科会運営委員長 村上